

(単位：千円)

決算書 (P508～P509)	1 款 2 項 1 目 公共下水道事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	下水道センター機能高度化事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
406,424	392,767	214,231		174,100	4,436 (負担金、繰越金)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
13,605	52		18		34	

## 【目的】

- ・下水道センター長寿命化計画及び上越市下水道ストックマネジメント計画に基づき、設備の計画的な改築・更新を行い、施設全体の長寿命化を図り安定的な汚水処理を行う。

## 平成 30 年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成 30 年度目標

- ・長寿命化対策工事と耐震補強工事について、計画どおり年度内に完了する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。

## ○実施内容、これまでの経過等

【 】は平成 29 年度繰越明許分

委託名	金額
下水道センター水処理 1 系・送風機等施設長寿命化対策(設備)工事 監理業務委託	7,372 【4,080】
下水道センター分水槽耐震診断見直し業務委託	8,532
下水道センター中央監視設備改築実施設計業務委託	8,100

工事名	金額
下水道センター水処理 1 系初沈・送風機等長寿命化対策(機械設備) 工事	65,640 【19,800】
下水道センター水処理 1 系計装設備・送風機等長寿命化対策(電気設備 その 20) 工事	230,080 【53,600】
下水道センター 1 系最初沈殿池耐震補強工事	61,478 【21,600】
下水道センター沈砂池機械棟耐震補強工事	11,543

決算書 (P 508～P 509)	1 款 2 項 1 目 公共下水道事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	下水道センター機能高度化事業		

○目標達成状況

- ・年度当初に予定していた長寿命化対策工事と耐震化工事については、施工範囲が重複し必要以上に工事期間を要したが、当初工期内で計画どおり完了し目標を達成した。

【事業の成果】

- ・水処理 1 系最初沈砂池の老朽化した機械設備、電気設備機器の改築更新及び耐震化により、処理施設の長寿命化と効率的で安定的な運転を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・長寿命化対策工事と耐震補強工事については、施工範囲が重複するとともに、汚水処理施設の切替えが伴うため、工事の準備期間を十分見込み、早期発注を図っていく。
- ・今後は「上越市下水道ストックマネジメント計画」の詳細版を策定し、下水道施設全体の維持管理・改築を計画的・効率的に行い、持続的な機能確保とライフサイクルコストの低減を図っていく。

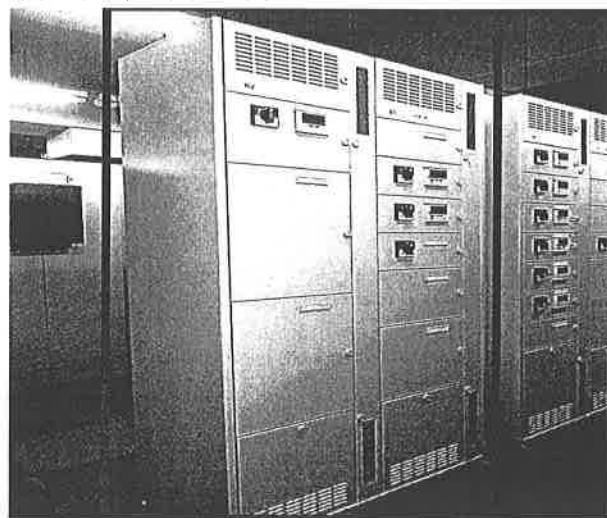
【執行残額について】

○事業未実施	18
需用費	18
○その他	34
・実績が見込みを下回ったもの	34
旅費	34

〔下水道センター水処理 1 系長寿命化対策工事〕



最初沈殿池汚泥掻寄機更新  
(機械設備工事)



送風機コントロール盤更新  
(電気設備工事)

(単位：千円)

決算書 (P508～P509)	1款2項1目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	公共下水道整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
332,400	274,134	103,951		169,900	283 (繰越金)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	58,266				58,266	

## 【目的】

- ・悪臭や害虫の発生源を排除するため、汚水管渠を整備し、衛生的で快適な生活環境に改善を図る。

## 平成30年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■上越下水道整備事業

## ○実施内容

- ・汚水工事  $\phi$ 250～400mm L=749.1m (繰越明許)
- ・物件移転補償 水道管 N=2件 (繰越明許)

## ○これまでの経過等

- ・全体計画 昭和53年度～ 全体計画面積 A=4,097.5ha
- ・事業計画 昭和54年度～令和5年度 事業計画面積 A=3,286.5ha
- 整備済面積 A=2,507.3ha (平成30年度末)

## ■大潟下水道整備事業(大潟区)

## ○実施内容

- ・実施設計業務委託(雨水)  $\phi$ 600～1350mm L=643.0m (繰越明許)
- ・汚水工事  $\phi$ 250～400mm L=123.1m (繰越明許)
- ・物件移転補償 ガス管、水道管 N=2件 (繰越明許)

## ○これまでの経過等

- ・全体計画 平成10年度～ 全体計画面積 A=345.0ha
- ・事業計画 平成14年度～令和2年度 事業計画面積 A=223.0ha
- 整備済面積 A=189.1ha (平成30年度末)

## 【事業の成果】

- ・平成30年度の下水道全体計画に対する整備面積ベースの進捗率が、平成29年度決算(64.9%)から+1.1ポイント向上し、生活環境の向上及び公衆衛生の改善を図ることができた。

決算書 (P508～P509)	1 款 2 項 1 目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	公共下水道整備事業		

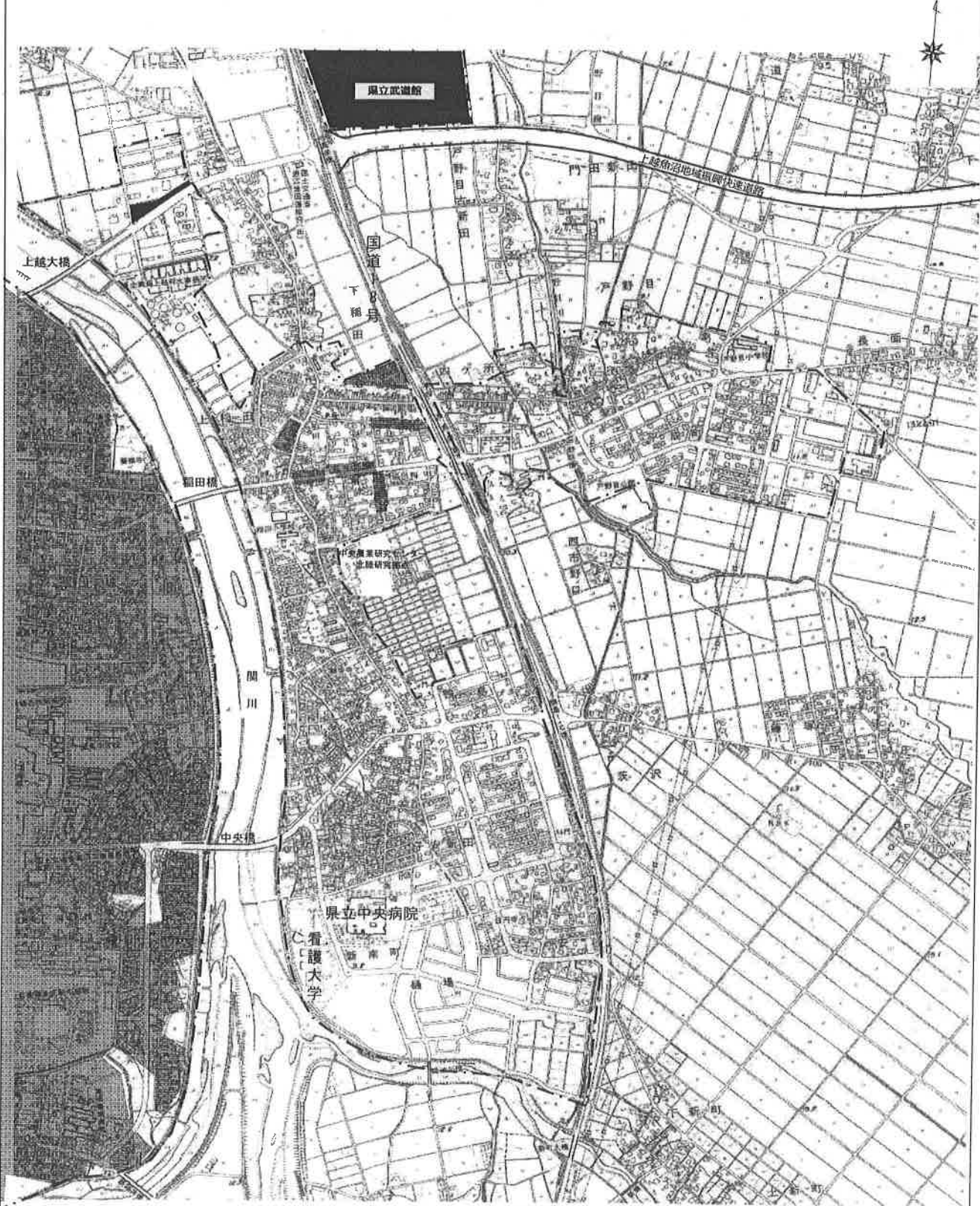
【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】




- ・衛生的で快適な生活環境を実現するため、引き続き、適切な工事規模で計画的な発注を行い、早期完了に努めていく。

【執行残額について】

○その他	58,266
・実績が見込みを下回ったもの	58,266
委託料	9
工事請負費	55,895
補償、補填及び賠償金	2,362

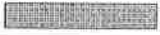


平成30年度 公共下水道整備箇所図(上越処理区)



凡 例	
	平成29年度まで施工済箇所
	平成30年度施工箇所(繰越明許)
	事業計画区域

# 平成30年度 公共下水道整備箇所図(大潟処理区)



凡 例	
	平成29年度まで施工済箇所
	平成30年度施工箇所(繰越明許)
	事業計画区域

(単位：千円)

決算書 (P508～P511)	1款2項1目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	公共下水道汚水整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,511,927	3,330,815	832,193		2,318,800	174,342 (負担金)	5,480
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
175,223	5,889		1,512		4,377	

## 【目的】

- ・悪臭や害虫の発生源を排除するため、汚水管渠を整備し、衛生的で快適な生活環境に改善を図る。

## 平成30年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成30年度目標

- ・公共下水道全体計画に対し整備面積ベースの進捗率を65.1%（前年比+1.1%）にする。

## ■上越汚水整備事業

## ○実施内容

- ・実施設計業務委託 φ150～290mm L=32,691.7m
- ・地質調査業務委託 φ66～86mm N=34孔
- ・汚水工事 φ150～400mm L=7,291.6m
- ・舗装本復旧工事 A=25,475 m<sup>2</sup>
- ・物件移転補償 ガス管、水道管ほか N=38件

## ○これまでの経過等

- ・全体計画 昭和53年度～ 全体計画面積 A=4,097.5ha
- ・事業計画 昭和54年度～令和5年度 事業計画面積 A=3,286.5ha
- 整備済面積 A=2,507.3ha（平成30年度末）

## ■柿崎汚水整備事業（柿崎区）

## ○実施内容

- ・汚水工事 φ150～200mm L=1,179.9m
- ・舗装本復旧工事 A=1,771.2 m<sup>2</sup>
- ・物件移転補償 ガス管、水道管ほか N=6件

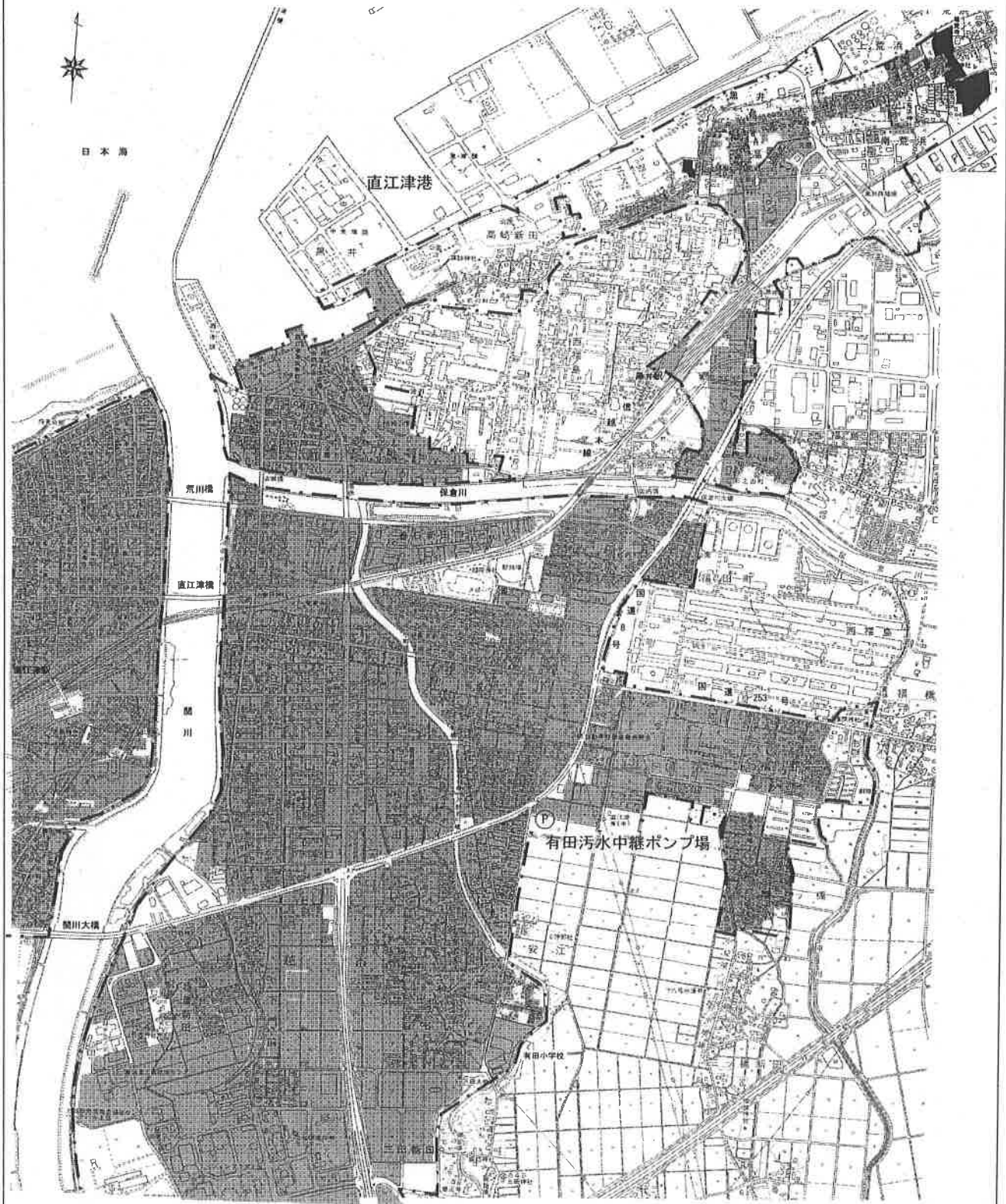
## ○これまでの経過等




- ・全体計画 平成4年度～ 全体計画面積 A=369.1ha
- ・事業計画 平成6年度～令和7年度 事業計画面積 A=257.5ha
- 整備済面積 A=241.9ha（平成30年度末）



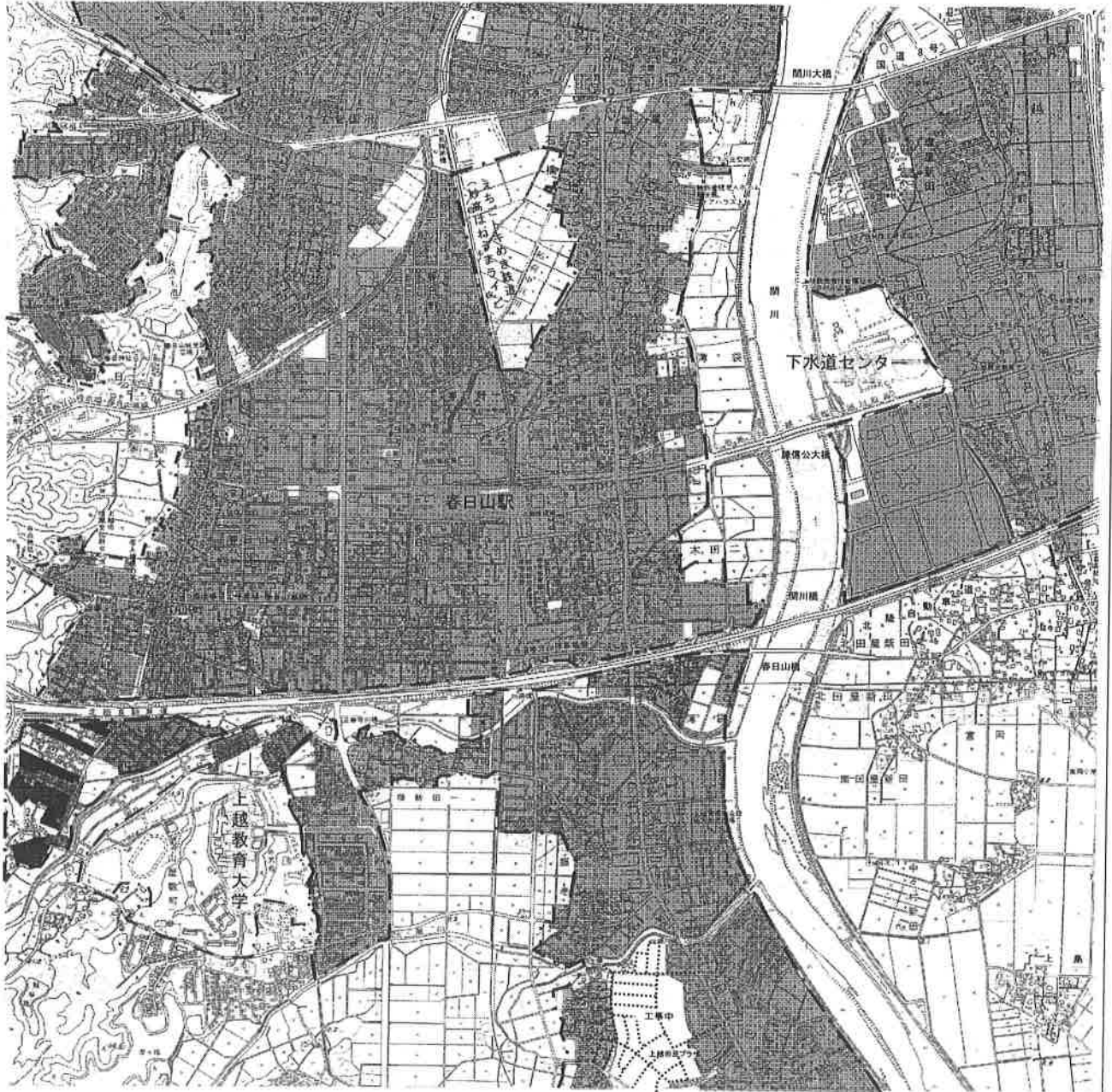





平成30年度 公共下水道整備箇所図(上越処理区) 1/5



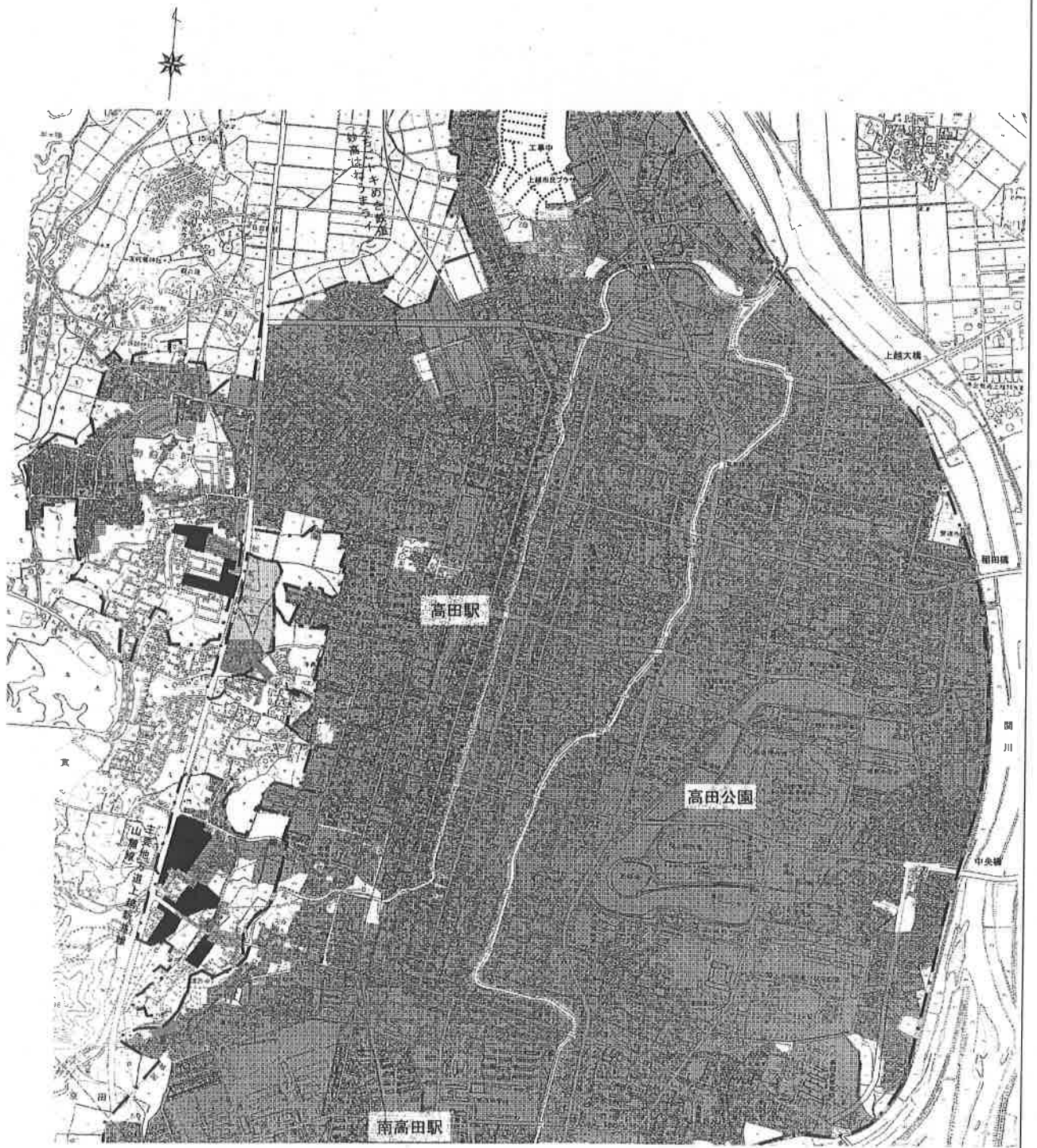
凡 例	
	平成29年度まで施工済箇所
	平成30年度施工箇所
	事業計画区域



平成30年度 公共下水道整備箇所図(上越処理区) 2/5



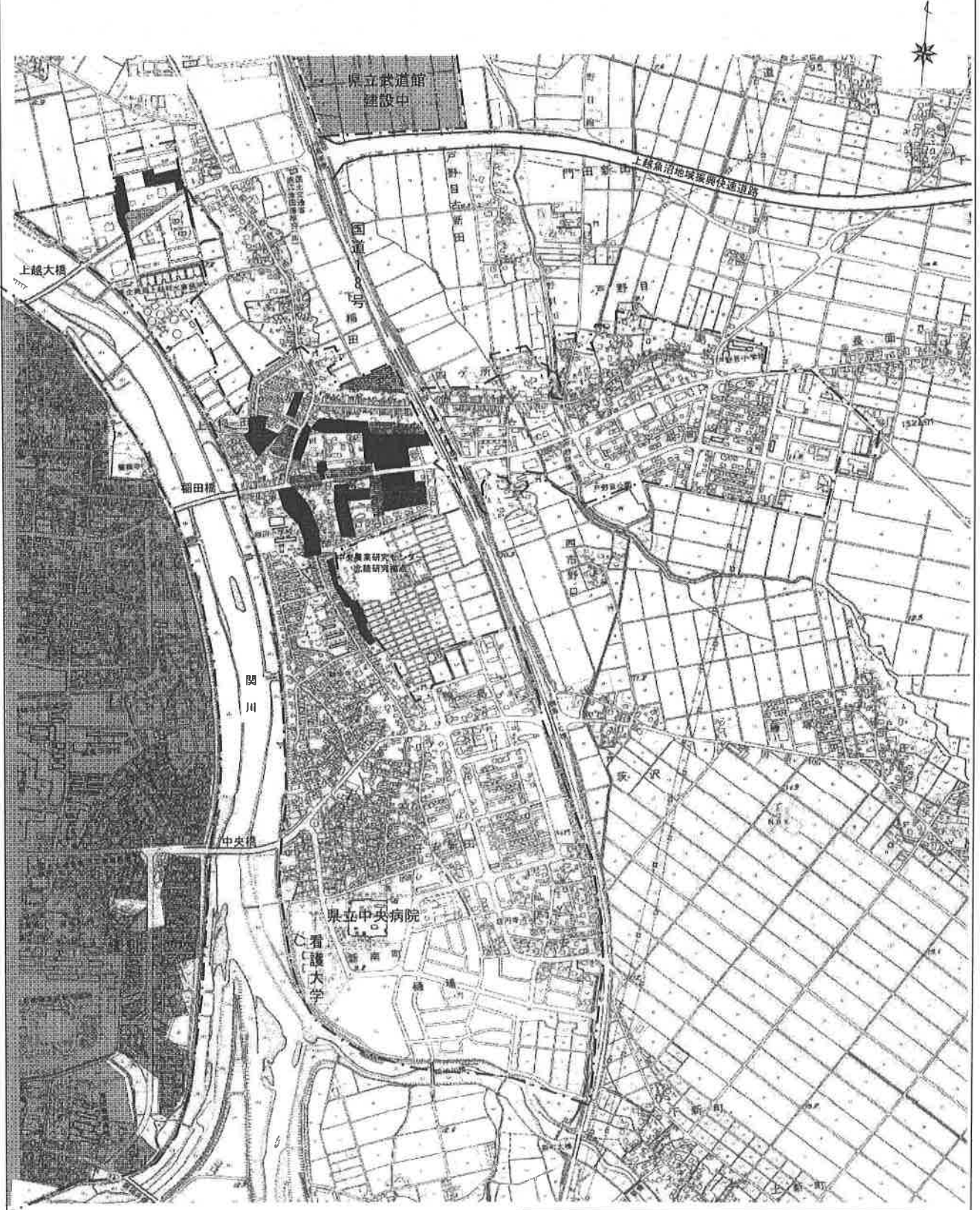
凡 例	
	平成29年度まで施工済箇所
	平成30年度施工箇所
	事業計画区域




平成30年度 公共下水道整備箇所図(上越処理区) 3/5



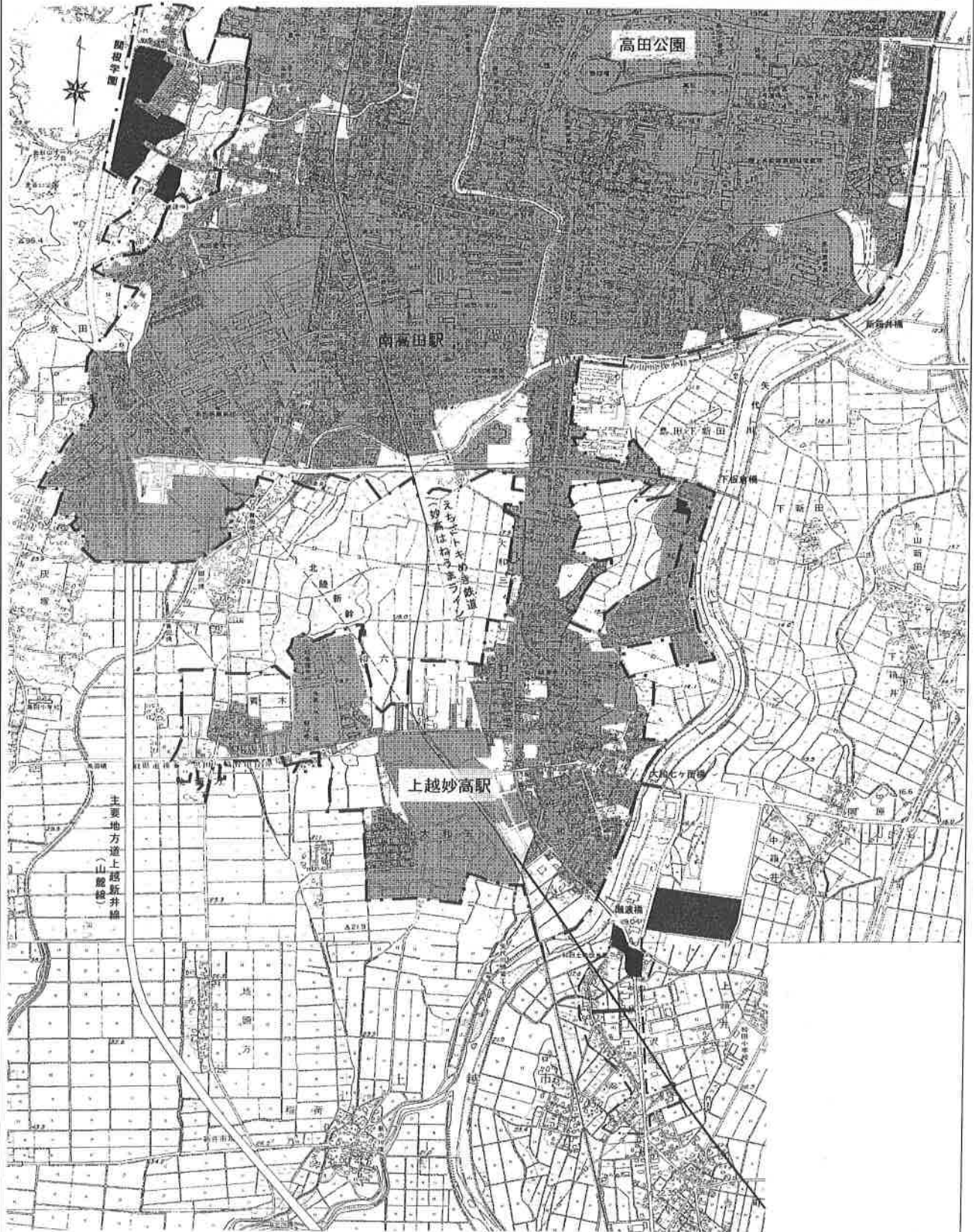
凡 例	
	平成29年度まで施工済箇所
	平成30年度施工箇所
	事業計画区域




平成30年度 公共下水道整備箇所図(上越処理区) 4/5



凡 例	
	平成29年度まで施工済箇所
	平成30年度施工箇所
	事業計画区域




平成30年度 公共下水道整備箇所図(上越処理区) 5/5



凡 例	
	平成29年度まで施工済箇所
	平成30年度施工箇所
	事業計画区域

# 平成30年度 公共下水道整備箇所図(柿崎処理区)



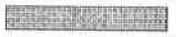


凡 例	
	平成29年度まで施工済箇所
	平成30年度施工箇所
	事業計画区域

# 平成30年度 公共下水道整備箇所図(大潟処理区)



日本海



凡 例	
	平成29年度まで施工済箇所
	平成30年度施工箇所
	事業計画区域

(単位：千円)

決算書 (P510～P511)	1 款 2 項 1 目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	公共下水道雨水整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
719,389	66,061	18,589		31,100		16,372
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
651,165	2,163				2,163	

## 【目的】

- ・集中豪雨などに対応するため雨水管渠を整備し、浸水被害の軽減を図る。

## 平成 30 年度 の 取 組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成 30 年度目標

- ・効率的かつ総合的な浸水対策の実施を図るため、雨水管理総合計画を年度内に策定する。
- ・国の補正予算活用分については早期発注に努める。

## ■上越雨水整備事業

## ○実施内容

- ・雨水排水現況調査業務委託（大和五丁目他、新光町三丁目他） N=2 地区
- ・雨水管理総合計画策定業務委託（市内一円） 一式
- ・水位計設置工事（東城町三丁目、鴨島二丁目、春日新田二丁目） N=3 か所

## ○これまでの経過等

- ・全体計画 昭和 53 年度～ 全体計画面積 A=4,075.3ha
- ・事業計画 昭和 54 年度～令和 5 年度 事業計画面積 A=2,905.7ha

## ■大潟雨水整備事業

## ○実施内容

- ・用地測量、用地調査業務委託（九戸浜） 一式

## ○これまでの経過等

- ・全体計画 平成 10 年度～ 全体計画面積 A=345.0ha
- ・事業計画 平成 14 年度～令和 2 年度 事業計画面積 A=60.7ha

## ○目標達成状況

- ・雨水管理総合計画を年度内に策定したことから、目標を達成することができた。
- ・国の補正予算等を活用し、事業の一部を前倒しすることで、浸水被害の早期解消・軽減に向けて進捗することができた。



決算書 (P510～P511)	1 款 2 項 1 目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	公共下水道雨水整備事業		

#### 【事業の成果】

- ・雨水排水現況調査により、浸水被害の原因を把握することで、適切な対策工事の検討を行うことができた。
- ・上越市雨水管理総合計画の策定により、浸水対策に係る基本方針や対策手法、優先的に整備する箇所などを明確化することができた。
- ・市内3か所に水位計を設置し、市民に向けた水位情報の発信を行うことができた。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・雨水管理総合計画を実現するため、計画の進捗管理や見直しを行いながら、更なる財源の確保に努めるとともに、ハード整備だけでは対応が困難な豪雨に対しては、新たにソフト対策を加えた浸水対策を実施していく必要がある。
- ・水位計の水位情報の活用方法について、地域住民に周知していく必要がある。
- ・雨水工事について、特殊資材の調達に日数を要したため、年度内に工事が完了できなかったことから、特殊資材を使用する工事については、その調達期間を考慮した発注と工事期間の設定に努める必要がある。

#### 【執行残額について】

##### ○その他

- |                |       |
|----------------|-------|
| ・実績が見込みを下回ったもの | 2,163 |
| 需用費            | 7     |
| 委託料            | 1     |
| 工事請負費          | 511   |
| 物件移転補償料        | 1,644 |

(単位：千円)

決算書 (P510～P511)	1款2項2目 特定環境保全公共下水道事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	浄化センター機能高度化事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
192,168	129,972	70,203		59,600	169 (分担金 繰越金)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
60,459	1,737		55		1,682	

## 【事業の目的】

- ・名立浄化センター長寿命化計画に基づき、設備の計画的な改築・更新を行い、施設全体の長寿命化を図り安定的な汚水処理を行う。

## 平成30年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成30年度目標

- ・長寿命化対策工事と耐震補強工事について、計画どおり発注し完了する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。

## ○実施内容、これまでの経過等

【 】は平成29年度繰越明許分

委託名	金額
名立浄化センター長寿命化対策(機械設備)工事監理業務委託	2,748 【1,425】
市場価格調査(電気設備)業務委託	1,382
名立浄化センター管理棟耐震補強工事实施設計業務委託	6,448
名立浄化センター長寿命化対策(電気設備その1)工事監理業務委託	700

工事名	金額
名立浄化センター長寿命化対策(機械設備)工事	68,036 【38,400】
名立浄化センター水処理施設耐震補強工事	20,458 【11,567】
名立浄化センター長寿命化対策(電気設備その1)工事	30,200

## ○目標達成状況

- ・長寿命化対策(電気設備)工事において、施工に伴う水処理施設の運転制御に関し、施設管理者との協議に日数を要したため、工事の一部を繰り越したことから目標を達成できなかった。

決算書 (P510～P511)	1 款 2 項 2 目 特定環境保全公共下 水道事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	浄化センター機能高度化事業		

**【事業の成果】**

- ・老朽化した最終沈殿池の機械設備の改築更新と水処理施設の耐震化により、処理場の長寿命化と効率的で安定的な運転を確保することができた。

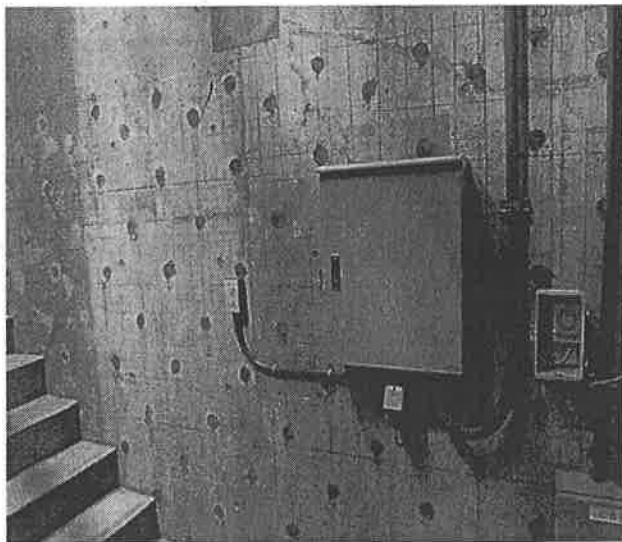
**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・長寿命化対策工事に係る機器の更新に当たり、代替機器や運転制御方式の相違など検討に要する時間を十分に見込んだ工事期間を設定するとともに、適正な運転管理の維持継続に努めていく。

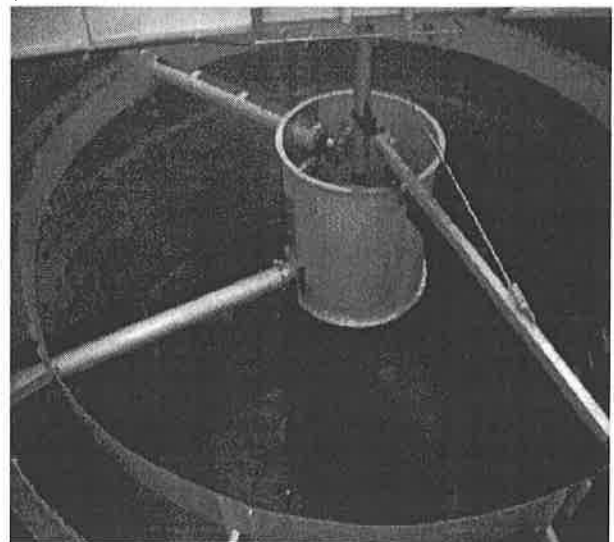
**【執行残額について】**

○事業未実施	55
旅費	55
○その他	1,682
・実績が見込みを下回ったもの	1,681
委託料	1,681
・事業実施に伴う端数残	1

〔名立浄化センター長寿命化対策工事、耐震補強工事〕



耐震補強工事  
(丸穴補修箇所が補強箇所)



最終沈殿池汚泥掻寄機更新

決算書 (P521~P542)	所管課等	生活排水対策課
-----------------	------	---------

上越市農業集落排水事業特別会計決算状況

《総括》

(単位：千円・%)

	平成29年度	平成30年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳入総額	2,533,225	2,721,572	188,347	7.4
歳出総額	2,533,225	2,721,572	188,347	7.4
歳入歳出差引額	0	0		
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実質収支額	0	0		

《歳入》

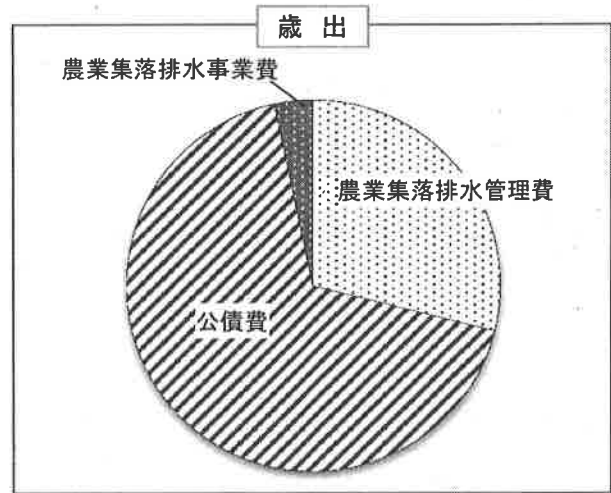
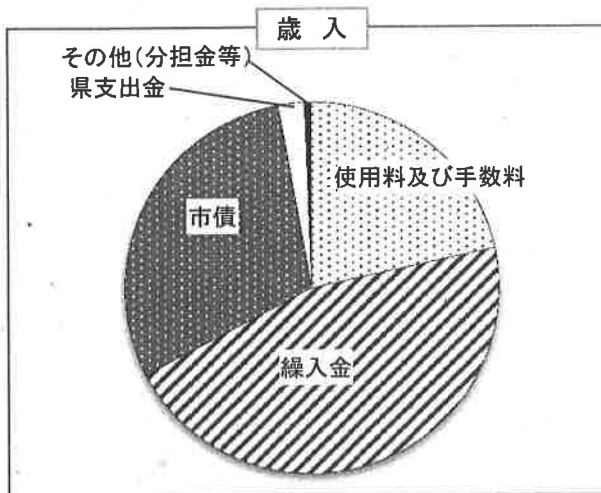
(単位：千円・%)

項目	決算額	構成比
分担金及び負担金	11,757	0.4
使用料及び手数料	586,485	21.5
県支出金	61,527	2.3
繰入金	1,246,974	45.8
繰越金	0	0.0
諸収入	4,124	0.2
市債	810,700	29.8
財産収入	5	0.0
合計	2,721,572	100.0

《歳出》

(単位：千円・%)

項目	決算額	構成比
農業集落排水管理費	787,436	28.9
農業集落排水事業費	91,133	3.4
公債費	1,843,003	67.7
合計	2,721,572	100.0



○整備状況

	平成29年度	平成30年度	増減
A 計画及び供用開始済面積 (ha)	2,954.6	2,954.6	0.0
B 計画区域内人口 (人)	32,840	31,954	△ 886
C 供用人口 (人)	32,840	31,954	△ 886
D 進捗率 C/B (%)	100.0	100.0	0.0
E 接続人口 (人)	30,425	29,891	△ 534
F 接続率 E/C (%)	92.6	93.5	0.9

○農業集落排水施設使用料収納状況

(現年度分)

(単位：千円・%)

年度	調定額	収入額	収納率
平成26年度	547,435	545,311	99.6
平成27年度	565,321	562,842	99.6
平成28年度	604,593	602,494	99.7
平成29年度	594,621	592,626	99.7
平成30年度	586,563	584,312	99.6

《歳入》

(単位：千円)

項目	合計	合併前上越市	安塚区	牧区	柿崎区	大潟区	頸城区
分担金及び負担金	11,757	5,088	0	429	0	0	3,120
使用料及び手数料	586,485	224,245	32,556	13,240	9,551	12,549	69,018
県支出金	61,527	8,184	300	6,254	0	0	320
繰入金	1,246,974	-	-	-	-	-	-
繰越金	0	0	0	0	0	0	0
諸収入	4,124	1,913	0	76	208	0	0
市債	810,700	278,300	32,150	37,800	15,650	13,950	75,800
財産収入	5	5	0	0	0	0	0
合計	2,721,572	517,735	65,006	57,799	25,409	26,499	148,258

項目		吉川区	中郷区	板倉区	清里区	三和区	名立区
分担金及び負担金		390	390	0	780	1,170	390
使用料及び手数料		56,445	10,424	1,250	45,269	96,337	15,601
県支出金		4,305	0	0	0	42,164	0
繰入金		-	-	-	-	-	-
繰越金		0	0	0	0	0	0
諸収入		1,927	0		0	0	0
市債		112,200	16,450	3,950	52,200	139,000	33,250
財産収入		0	0	0	0	0	0
合計		175,267	27,264	5,200	98,249	278,671	49,241

《歳出》

(単位：千円)

項目	合計	合併前上越市	安塚区	牧区	柿崎区	大潟区	頸城区
農業集落排水管理費	787,436	356,253	21,590	20,983	9,485	25,948	73,335
農業集落排水事業費	91,133	0	0	0	0	0	0
公債費	1,843,003	641,602	83,591	70,226	30,891	26,792	186,952
合計	2,721,572	997,855	105,181	91,209	40,376	52,740	260,287

項目		吉川区	中郷区	板倉区	清里区	三和区	名立区
農業集落排水管理費		93,891	12,020	2,655	42,779	104,846	23,651
農業集落排水事業費		7,506	0	0	0	83,627	0
公債費		268,573	43,770	9,558	127,868	263,637	89,543
合計		369,970	55,790	12,213	170,647	452,110	113,194

《整備状況》

	合計	合併前上越市	安塚区	牧区	柿崎区	大潟区	頸城区
A 計画及び供用開始済面積 (ha)	2,954.6	972.1	227.5	72.0	51.0	47.0	335.0
B 計画区域内人口 (人)	31,954	11,340	1,414	937	544	786	3,786
C 供用人口 (人)	31,954	11,340	1,414	937	544	786	3,786
D 進捗率 C/B (%)	100	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
E 接続人口 (人)	29,891	10,398	1,302	632	542	742	3,638
F 接続率 E/C (%)	93.5	91.7	92.1	67.4	99.6	94.4	96.1

		吉川区	中郷区	板倉区	清里区	三和区	名立区
A 計画及び供用開始済面積 (ha)		377.1	63.0	9.0	189.6	360.3	251.0
B 計画区域内人口 (人)		3,418	601	100	2,595	5,518	915
C 供用人口 (人)		3,418	601	100	2,595	5,518	915
D 進捗率 C/B (%)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
E 接続人口 (人)		3,366	596	97	2,587	5,223	768
F 接続率 E/C (%)		98.5	99.2	97.0	99.7	94.7	83.9

(単位：千円)

決算書 (P534～P535)	1款1項1目 農業集落排水総務費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水設備設置促進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,765	3,437				1,795 (諸収入)	1,642
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,328				2,328	

## 【目的】

- ・農業用排水の水質保全と農村地域の生活環境改善を図るため、農業集落排水への接続を促進する。

## 平成30年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成30年度目標

- ・集落排水管理組合と連携し接続に対する啓発を行う。
- ・生活排水処理推進員が未接続世帯を訪問し、接続相談や助成制度など支援制度の周知を行うことにより、長期未接続者の縮減を図る。

## ○実施内容、これまでの経過等

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
生活排水処理 推進員(1人)	訪問件数	1,453	1,619	1,348
	接続件数	8	4	11
排水設備設置費 助成金	生活保護世帯	件数	0	0
		金額(円)	0	0
	住民税非課税世帯	件数	1	0
		金額(円)	120,000	0
合 計	件数	1	0	
	金額(円)	120,000	0	
排水設備設置 資金融資	預託件数	12	10	7
	預託金額(円)	2,899,428	2,344,870	1,795,208
	うち新規	件数	2	0
		金額(円)	745,000	0
利子補給補助金	補助件数	4	5	4
	補助金額(円)	31,213	42,047	37,607
農業集落排水事業接続率(%)		91.7	92.6	93.5

決算書 (P534～P535)	1 款 1 項 1 目 農業集落排水総務費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水設備設置促進事業		

○目標達成状況

- ・集落排水管理組合と連携した啓発により、処理区域内へ転入した 30 件が新たに接続し、接続世帯の増加を図ることができた。
- ・生活排水処理推進員の戸別訪問による接続相談により 11 件の接続があり、長期未接続世帯を縮減させることができた。

【事業の成果】

- ・接続推進の効果により接続率は前年度から 0.9 ポイント増の 93.5%となった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・今後も処理区域内の定住人口の減少が見込まれるが、郵送による接続要請や集落排水管理組合と連携した働きかけを継続し、未接続世帯を縮減させることで接続率の向上を図っていく。

【執行残額について】

○その他	2,328
・実績が見込みを下回ったもの	2,328
報酬	35
共済費	173
使用料及び賃借料	12
負担金補助及び交付金	651
貸付金	1,457

(単位：千円)

決算書 (P534～P535)	1款1項2目 農業集落排水施設管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
738,378	729,131		910	53,900	586,331 <small>(使用料、徴収、助成金)</small>	87,990
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	9,247		56	2,397	6,794	

## 【目的】

- ・農業集落排水処理施設の適切な維持管理及び生活排水処理を行い、公共用水域の水質保全を図る。

## 平成30年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成30年度目標

- ・浄化槽法に基づく排水処理施設の適切な維持管理を行い、水質汚濁防止法に基づく放流水質の排水基準を遵守するとともに、放流水質の自主基準を達成する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・農業集落排水処理施設(48施設)の適切な維持管理及び生活排水処理を行った。
- ・放流水質の自主検査を毎月実施し、排水基準を遵守した。

## [主な実施内容]

	区分	事業内容	事業費
委託	施設管理委託	排水処理場管理業務(48施設)	340,379
	水質検査委託	排水処理場水質検査業務(48施設)	7,344
	管渠清掃委託	安塚区(和田他)	688
	排水処理施設機能強化等調査業務委託	機能強化対策事業費用対効果算定業務委託(頸城中部、三和区本郷、吉川中部)	1,966
	汚泥減容化委託	汚泥減容化装置管理業務(14施設)	27,086
	管路調査委託	合併前上越市(下名柄他)	6,570
	資産調査業務委託	管路、排水処理施設(48施設)	52,170
	公営企業会計システム構築業務委託	公営企業会計システム構築	1,847
工事	管路施設工事	清里区(県道マンホール調整工事)	291



決算書 (P534～P535)	1款1項2目 農業集落排水施設管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設管理費		

○目標達成状況

- ・浄化槽法に基づく排水処理施設の適切な維持管理を行い、水質汚濁防止法に基づく放流水質の排水基準を遵守した。なお、自主基準以下の排水基準となった施設が一部あったが、機器の運転管理を見直したことにより、早期に改善が図られ、おおむね目標を達成することができた。

【事業の成果】

区分	BOD (検査頻度 1回/月)			SS (検査頻度 1回/月)				
	法基準 (水質汚濁防止法)	自主基準値	年間 平均値	法基準 (水質汚濁防止法)	自主基準値	年間 平均値		
合併前上越市(12施設)	160 mg/L 以下	20 mg/L 以下	3.2mg/L	200 mg/L 以下	50 mg/L 以下	0.7mg/L		
安塚区(2施設)		20 mg/L 以下	2.2mg/L		50 mg/L 以下	1.6mg/L		
牧区(1施設)		20 mg/L 以下	3.7mg/L		50 mg/L 以下	1.2mg/L		
柿崎区(1施設)		20 mg/L 以下	8.4mg/L		50 mg/L 以下	3.1mg/L		
大潟区(5施設)		20 mg/L 以下	5.8mg/L		50 mg/L 以下	1.6mg/L		
頸城区(4施設)		20 mg/L 以下	2.0mg/L		50 mg/L 以下	0.8mg/L		
吉川区(8施設)		※関川水系 に排水する 施設は 40 mg /L 以下	20 mg/L 以下		2.8mg/L	※関川水系 に排水する 施設は 90 mg /L 以下	50 mg/L 以下	1.5mg/L
中郷区(1施設)			20 mg/L 以下		2.2mg/L		50 mg/L 以下	2.9mg/L
板倉区(1施設)			20 mg/L 以下		3.4mg/L		50 mg/L 以下	3.9mg/L
清里区(4施設)			20 mg/L 以下		6.9mg/L		50 mg/L 以下	3.8mg/L
三和区(6施設)			20 mg/L 以下		4.1mg/L		50 mg/L 以下	3.8mg/L
三和区平成団地			40 mg/L 以下		10.6mg/L		50 mg/L 以下	10.1mg/L
名立区(2施設)			20 mg/L 以下		2.0mg/L		50 mg/L 以下	1.1mg/L
合計(48施設)			-		-		-	-

BOD：生物化学的酸素要求量（水中の汚濁物質を微生物が分解するために必要な酸素量）

SS：浮遊物質（水中に浮遊している汚れ）

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・農業集落排水処理施設の経年劣化等に伴う汚水処理機能の低下を回避し耐用年数の延長を図るため、機器の更新及び施設の改修などの機能強化対策事業を計画的に導入していく必要がある。

決算書 (P534～P535)	1款1項2目 農業集落排水施設管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設管理費		

【執行残額について】

○事業未実施	56
工事請負費	56
○入札差金	2,397
委託料	2,397
○その他	6,794
・実績が見込みを下回ったもの	6,792
報酬	16
共済費	12
旅費	37
需用費	2,029
役務費	535
委託料	3,424
使用料及び賃借料	677
原材料費	62
・事業実施に伴う端数残	2

(単位：千円)

決算書 (P536～P537)	1款2項1目 農業集落排水事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設機能強化対策事業三和区本郷地区		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
83,720	83,627		41,500	41,500		627
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	93			93		

## 【目的】

- ・農業集落排水処理施設の安定的な機能を確保するため、経年劣化の対応策として処理施設等の機器の更新及び改修工事を行い、施設全体の長寿命化を図る。

## 平成30年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成30年度目標

- ・処理施設等の機器の更新及び改修工事を年度内に完了する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・全体事業内容(平成29年度～平成30年度)

平成29年度		平成30年度	
・実施設計業務委託	5,562	・施工監理委託	1,620
・機能強化対策工事 (汚泥引抜ポンプ・中継ポンプ非常通報装置)	30,990	・機能強化対策工事 (機械設備・電気設備工事)	82,007

## ○目標達成状況

- ・予定していた機械電気設備機器の機能強化対策工事が完了したことから、目標を達成することができた。

## 【事業の成果】

- ・機能強化対策工事により、処理施設の安定的な運転が確保された。

## 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

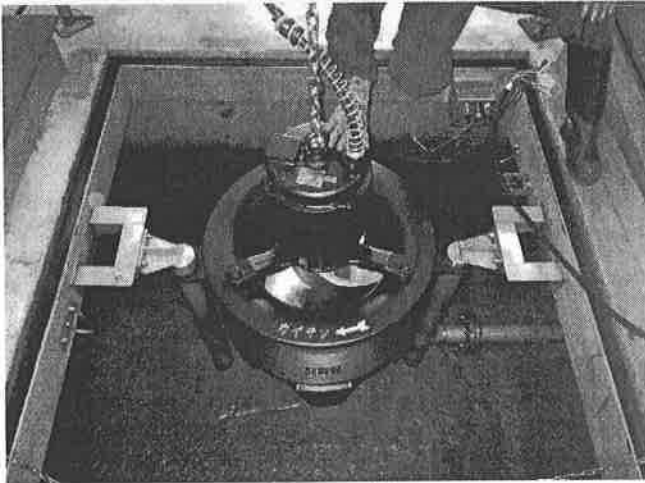
- ・引き続き、適切な施設の管理運営を行い、水質保全及び農村地域の生活環境の維持を図っていく。

決算書 (P536～P537)	1 款 2 項 1 目 農業集落排水事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設機能強化対策事業三和区本郷地区		

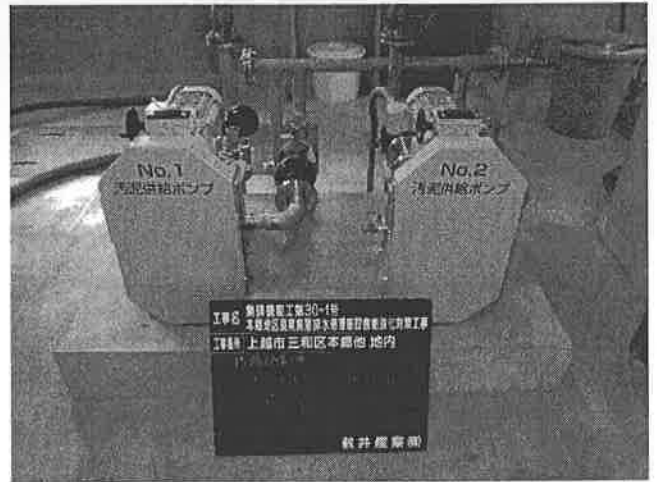
【執行残額について】

○入札差金	93
委託料	22
工事請負費	71

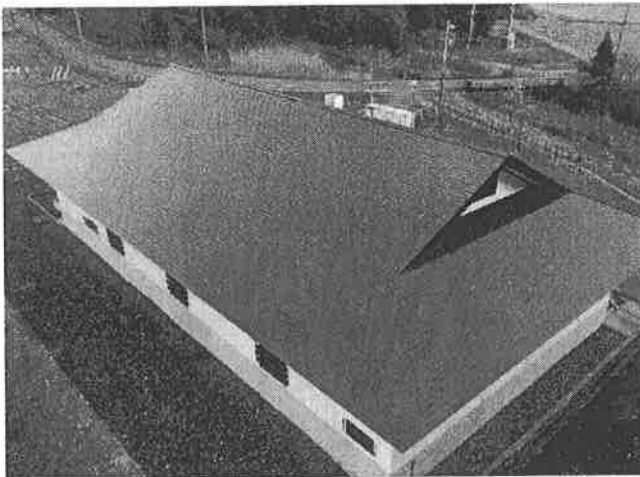
[三和区本郷地区農業集落排水処理場機能強化対策工事]



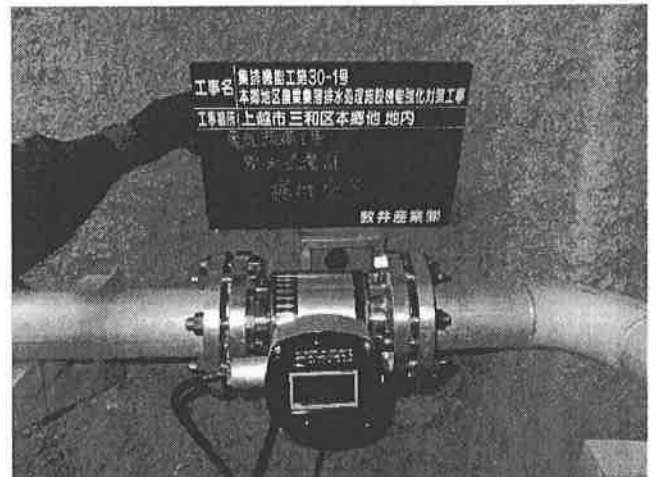
ばっ気攪拌装置更新  
(汚水処理場 機械設備工事)



汚泥供給ポンプ更新  
(汚水処理場 機械設備工事)



汚水処理場屋根塗裝修繕



原水流量計更新  
(汚水処理場 電気設備工事)

(単位：千円)

決算書 (P536～P537)	1款2項1目 農業集落排水事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設機能強化対策事業吉川区吉川中部地区		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,525	7,506		3,700	3,700		106
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	19		19			

## 【目的】

- ・農業集落排水処理施設の安定的な機能を確保するため、経年劣化の対応策として処理施設等の機器の更新及び改修工事を行い、施設全体の長寿命化を図る。

## 平成30年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成30年度目標

- ・処理施設等の機器の更新及び改修工事に係る実施設計を年度内に完了する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・全体事業計画(平成30年度～令和元年度)

平成30年度		令和元年度	
・実施設計業務委託	7,506	・施工監理委託	1,551
		・機能強化対策工事	105,919
		(機械設備・電気設備工事)	

## ○目標達成状況

- ・予定していた機器の更新及び改修工事に係る実施設計が完了したことから、目標を達成することができた。

## 【事業の成果】

- ・実施設計の完了により、令和元年度に予定する機能強化対策工事を早期に発注し、年度内完了を目指すことができる。

## 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、機能強化対策工事を実施し、安定的な機能確保と施設の長寿命化を図っていく必要がある。

## 【執行残額について】

- 事業未実施 19
- 旅費 19

(単位：千円)

決算書 (P624～P625)	1 款 1 項 1 目 土地区画整理事業費	所管課等	道路課 (平成30年度所管は新幹線・交通政策課)
事業名	上越市新幹線新駅地区土地区画整理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
108,492	99,391				23,392 (財産収入、繰越金、諸収入)	75,999
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	9,101		1,735		7,366	

## 【目的】

- ・新幹線新駅周辺地区として、駅利用者の利便性向上やにぎわいの創出など、駅周辺にふさわしい土地利用を図るため、土地区画整理事業により道路、駅前広場、公園等の公共施設整備を行う。

## 平成30年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成30年度目標

- ・土地区画整理事業の換地処分及び清算金の徴収、交付業務を確実にを行い、事業完了を図る。

## ○実施内容、これまでの経過等

## &lt;全体計画&gt;

施行面積 約28.5ha、施行期間 平成16年度～30年度

## &lt;これまでの経緯&gt;

- 平成16年 3月 都市計画決定(土地区画整理事業区域、都市計画道路、用途地域)
- 平成17年 3月 土地区画整理事業の認可
- 平成17年11月 土地区画整理事業区域内で釜蓋遺跡が発見され、計画見直しに着手
- 平成19年10月 釜蓋遺跡の保存活用に伴う都市計画の変更決定
- 平成20年 3月 事業計画(第1回)変更認可
- 平成20年11月 仮換地指定
- 平成24年 9月 事業計画(第2回)変更認可
- 平成29年 3月 事業計画(第3回)変更認可
- 平成29年12月 事業計画(第4回)変更認可
- 平成30年11月 換地処分
- 平成31年 2月 清算金の徴収・交付完了

決算書 (P624～P625)	1款1項1目 土地区画整理事業費	所管課等	道路課 (平成30年度所管は新幹線・交通政策課)
事業名	上越市新幹線新駅地区土地区画整理事業		

<平成30年度の主な実施内容>

- ・委託料 78,287  
測量委託料、換地設計業務委託料、電線入線業務委託料ほか
- ・工事請負費 2,793  
道路築造付帯工事ほか
- ・補償、補填及び賠償金 7,732  
換地清算金

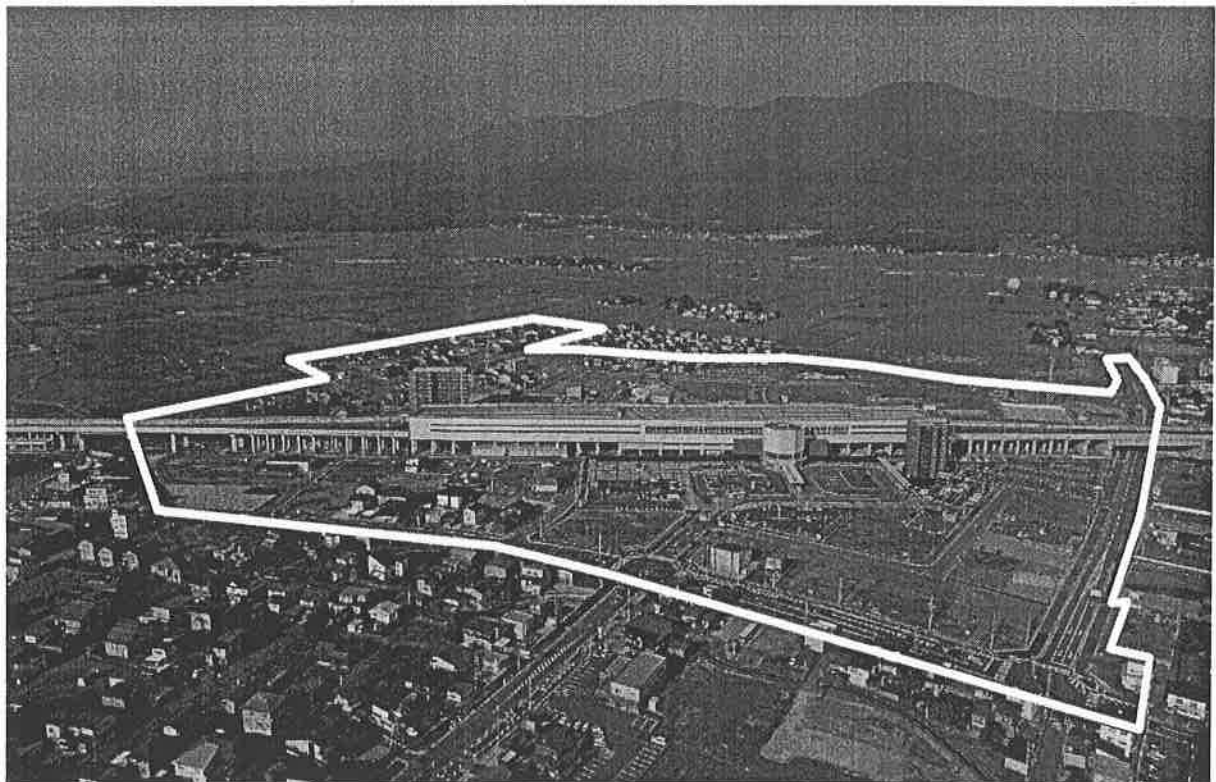
○目標達成状況

- ・土地区画整理事業の換地処分及び清算金の徴収、交付業務を確実にを行い、事業完了することができた。

【事業の成果】

- ・土地区画整理事業の実施により、駅利用者の利便性が向上したほか、区域内において新たな商業施設の営業が始まるなど、土地利用の促進が図られた。

〔上越市新幹線新駅地区土地区画整理事業〕



東から西を望む（平成30年7月撮影）

決算書 (P624~P625)	1款1項1目 土地区画整理事業費	所管課等	道路課 (平成30年度所管は新幹線・交通政策課)
事業名	上越市新幹線新駅地区土地区画整理事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・換地処分、清算金の徴収・交付が完了し事業は完了したが、6区画の分譲地が未販売となっており、引き続き販売促進に努める。

【執行残額について】

○事業未実施	1,735
報償金	50
委託料	1,685
○その他	7,366
・実績が見込みを下回ったもの	7,366
報酬	70
旅費	318
需用費	673
役務費	105
委託料	4,322
使用料及び賃借料	309
工事請負費	387
負担金補助及び交付金	22
補償、補填及び賠償金	1,160



決算書 (P 627～P 640)	所管課等	生活排水対策課
-------------------	------	---------

上越市浄化槽整備推進事業特別会計決算状況

《総括》

(単位：千円・%)

	平成29年度	平成30年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳入総額	10,842	10,807	△ 35	△ 0.3
歳出総額	10,842	10,807	△ 35	△ 0.3
歳入歳出差引額	0	0		
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実質収支額	0	0		

《歳入》

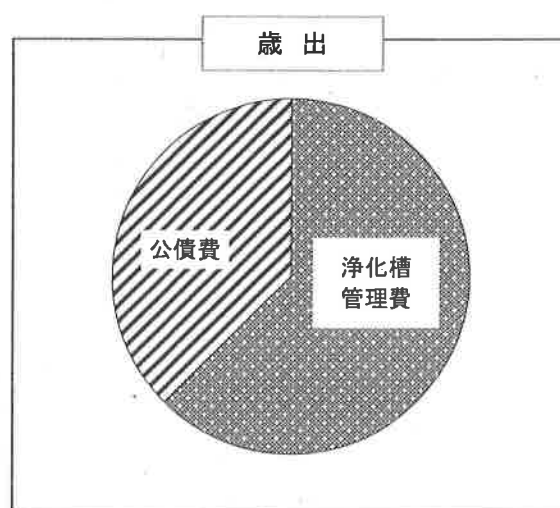
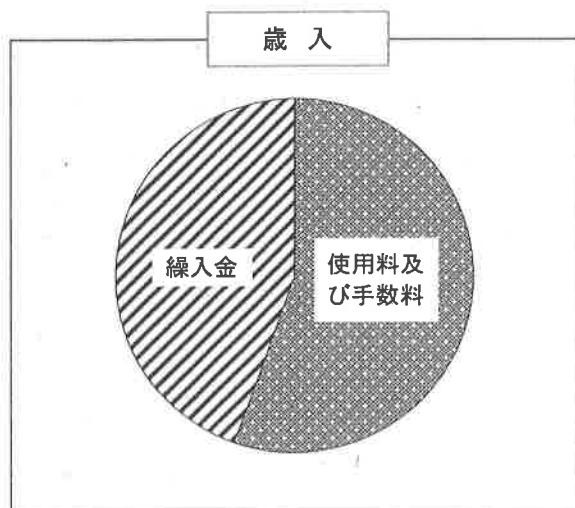
(単位：千円・%)

項目	決算額	構成比
使用料及び手数料	6,000	55.5
繰入金	4,807	44.5
合計	10,807	100.0

《歳出》

(単位：千円・%)

項目	決算額	構成比
浄化槽管理費	6,744	62.4
公債費	4,063	37.6
合計	10,807	100.0



《西部中山間地区浄化槽整備推進事業における整備実績》

年度	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
A 対象世帯数 (世帯)	659	630	625	623	623	612	611	611	616	612	612	602	595	583	574
B 市設置基数 (基)	33	29	11	6	7	8	5	10	7	4	4	0	0	0	0
C 市累積設置基数 (基)	33	62	73	79	86	94	99	109	115	119	123	123	122	122	123
D 事業外設置累積基数 (基)	39	39	36	35	36	39	41	41	41	41	43	45	46	48	48
E 汚水処理率 (C+D)/A (%)	10.9%	16.0%	17.4%	18.3%	19.6%	21.7%	22.9%	24.5%	25.3%	26.1%	27.1%	27.9%	28.2%	29.2%	29.8%

※ C及びDは休止又は廃止した浄化槽を含まない。

(単位：千円)

決算書 (P638～P639)	1款1項1目 浄化槽施設管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	浄化槽施設管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他 (使用料)	一般財源
7,066	6,744				6,000	744
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	322			233	89	

## 【目的】

- ・市が設置した合併処理浄化槽の維持管理を適正に行うことにより、生活環境の保全、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。

## 平成30年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成30年度目標

- ・浄化槽法に基づき、合併処理浄化槽の法定検査や点検、清掃などの維持管理を適正に行う。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・維持管理業務委託

地区	町内	基数	委託金額(円)
谷浜地区北部	鍛冶免分、西戸野、花立	16	886,400
谷浜地区南部	西鳥越、西山寺、下綱子、西横山、中桑取、高住、小池	24	1,273,120
谷浜地区西部	有間川、丹原、鍋ヶ浦、吉浦、茶屋ヶ原	33	1,829,280
桑取	大淵、皆口、増沢、西吉尾、土口、北谷	20	1,095,040
下正善寺・中正善寺・中ノ俣	下正善寺、中正善寺、中ノ俣	17	891,580
上正善寺	上正善寺	13	678,080
合計		123	6,653,500

※市が設置した124基のうち下正善寺の1基が休止中

決算書 (P638～P639)	1 款 1 項 1 目 浄化槽施設管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	浄化槽施設管理費		

○目標達成状況

- ・浄化槽法に基づく合併処理浄化槽の法定検査や点検、清掃などを実施し、適正に維持管理することができた。

【事業の成果】

- ・生活排水を適正に処理することにより、事業実施地域の生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、市が設置した合併処理浄化槽の維持管理を適正に行っていく。

【執行残額について】

○入札差金	233
委託料	233
○その他	89
・実績が見込みを下回ったもの	89
需用費	87
役務費	2